

内陸線 錦秋の山間を走る

やまあい

比立内鉄橋付近で

厳しい経営が続いている秋田内陸縦貫鉄道ですが、内陸線沿線の魅力的な景観やさまざまなサービスの提供で、観光目的の利用客は年々増加しています。今年も10月下旬、沿線は紅葉のピークを迎え、各地から訪れた乗客は、錦秋の溪谷や山の風景を堪能しました。四季折々の車窓風景が楽しめる内陸線、あなたも一度乗ってみませんか？（4・5頁に関連記事）。



広報 [No.64]

きたあきた

11/16

[1日、16日 月2回発行]

2007年

市内の物産、技術等を一堂に

「見直そう 活かそう 郷土の資源」をテーマとした第2回北秋田市産業祭が10月27日・28日の2日間 鷹巣体育館を会場に開催され 農・工・商・学全般にわたる展示品の観覧や特産品を買い求める多くの人でにぎわいました。

昨年に引き続き 市全体の地場産業の振興や地域経済の活性化を図るため 市や商工会、JAなどで作る実行委員会が主催して開催された産業祭は連日多くの人出で賑わいをみせました。

を展開したことで市内に25店の比内地鶏を常時提供するまでになった」などと述べながら決意表明を行いました。

会場の鷹巣体育館には 午前10時の開館と同時に大勢の人が詰め掛け ステージ前で開会セレモニーが行われました 始めに大会会長の佐藤副市長が「昨年初めて全市一堂に会して開催したところ大変好評を得た 今年も市内外にアピールできるものがそろった チェンソーアートなどの協賛行事も多数有り 是非2日間会場に足を運んでいただきたい」などとあいさつ。

来賓あいさつの後「比内地鶏の美味い街北秋田市」を目標す決意表明式が行われ 岸都市長はこの郷土に誇るべき比内地鶏をまちおこしに活用し、食の地域ブランドの確立 食を軸にした街づくりを目指すことを目指し 官民が一体となった活動

館内では、JA農産物品評会や特産品の販売、市推奨認定特産品紹介 アパレル 木材 珪藻土などの事業者による企業製品の展示や販売 鷹巣農林高校 米内沢高校 鷹巣高校の学校活動の紹介、秋田内陸線や大野台工業団地のPR 鷹巣技術専門校の展示・販売が行われました ステージでは鷹巣阿仁青年会議所（大森光信理事長）主催の「内陸線フォーラム～秋田内陸縦貫鉄道の再生で北秋田の活力を取り戻そう！～」と題した存続に向けたトークショーやパネルディスカッションが行われたほか 異無形民俗文化財の郷土芸能「猿倉人形芝居」地元民謡ショーなどが披露され来場者を魅せました。

このほか サブ体育館と屋外のテント村ではび

つくり商業祭が開かれ 格安商品や「やまと豚」などの特産品に多くの買い物客で賑わったほか、森吉地区で生産されている地場産牛の大試食会が行われ 集まった市民に豪快な インディアン焼きが振舞われました。

また 来年6月15日開催される第59回全国植樹祭のPRとして一本の木をチェンソーだけで削りオブジェを作るチェンソーアートが行われ 来場した多くの市民の注目を集めていました。



▲格安商品が販売されている「びつくり商業祭」（サブ体育館）



▲連日多くの市民でいっぱいとなった産業祭会場



▲鷹巣農林高校は木炭を原料とした「木酢液」を販売。木液は土の殺菌や微生物の繁殖、家畜のえさに混ぜたり、トイレ・部屋の消臭剤などに多様に使用されます



▲職人の技を見せていた鷹巣建設技能組合の技能競技会



▲大きな杉の木を削りオブジェを作るチェンソーアートは見る人を圧倒しました



▲農畜産物品評会に出品された見事な農産物がズラリと並び、訪れた市民らは質の良さに驚いていました



秋田内陸線の再生を考える

主催 鷹巣阿仁「秋田内陸縦貫鉄道の再生で
青年会議所 北秋田の活力を取り戻そう！」



▶参加されたパネラーの皆さん 左から
JTBパブリッシング(株)常務取締役の安齋三男氏、空間デザイナーの櫻田勝也氏、秋田内陸縦貫鉄道(株)代表取締役専務の竹村寧氏、内陸線サポーターの大穂耕一郎氏

厳しい経営が続いている秋田内陸線の再生について語り合うフォーラム(討議会)「秋田内陸縦貫鉄道の再生で北秋田の活力を取り戻そう！」が10月27日、市産業祭でにぎわう鷹巣体育館で開かれ、鉄道アイドルのトークショーや識者によるパネルディスカッションなどで、同鉄道再生の可能性を探りました。

地域活性化のために内陸線は欠かせない一青年会議所

主催は鷹巣阿仁青年会議所(大森光信理事長)秋田内陸線は平成元年の全線開業時の約108万人をピークに乗車人員が減少を続け平成15年度以降は60万人を割り込んでいます。また平成元年度には1億5千万円だった経常損失も同12年度には3億4千3百万円に増加。再生協議会の5カ年計画などに基づく経営努力にもかかわらず18年度には2億6千万を超える損失が発生し、存続が危ぶまれている。

廃論議が続いています。

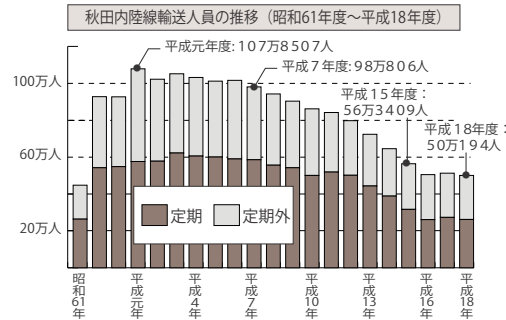
同会議所では内陸線がこのような厳しい状況にありながら地域活性化のためには欠かせないとの考えのもと、数年前から乗車運動や無人駅の駅舎の清掃活動などを実施してきました。今年度は県内外で署名活動を行うなど内陸線存続に向けた活動を展開。さらに市民とともにこの問題を考える機会を持ちたいとの趣旨から開催されたものです。

第一部では鉄道ファンからタレントになり鉄道アイドルとして知られている木村裕子さんの歌とトークショーで開幕しました。

PRで全国の鉄道ファンを取り込んで一木村さん

新幹線と内陸線普通列車を乗り継いで会場入りしたという木村さんは「沿線の景色は最高。窓の外を眺めてばかりでじつと座っていられたかった2時間の旅が15分ほどに感じた」と内陸線の魅力と自身のマニアぶりを紹介していました。

また「内陸線に何が必要?」との会議所メンバーの質問には、津軽鉄道のストーブ列車や写真集も出した



▲「これだけ魅力的な沿線風景のある内陸線の廃止は考えられない」「全国の鉄道ファンを取り込んで」と話す鉄道タレントの木村裕子さん(トークショーで)

和歌山電鉄貴志川線「貴志駅ゆめ猫」の駅長、名産の「ぬれ煎餅」を売って廃線の危機を乗り越えた千葉のローカル線・銚子電鉄の例などを紹介し、「比立内の紅葉などこの路線には魅力がいっぱい。東京で開かれた鉄道の日イベント(10月14日には15万人もの鉄道ファンが訪れるが、そのファンを取り込んだらこの路線ならではの魅力をPRし、県外からお客さんと呼んでほしい。廃線なんて考えられない」と自らアイデアを提案しながら存続運動の盛り上がり期待していました。

再生のための具体的なプランを提言一青年会議所

続く第2部では秋田内陸縦貫鉄道(株)代表取締役専務の竹村寧氏、内陸線サポーターの大穂耕一郎氏、JTBパブリッシング(株)常務取締役の安齋三男氏、空間デザイナーの櫻田勝也氏の4人がパネラーとして参加。大森理事長の司会でパネルディスカッションが始まりました。

自己紹介などの後、会議所メンバーが「鉄道施設は自治体を受け持つ。鉄道会社は列車運行に特化する経営の上下分離方式」や市民やサポーターも経営に参加できる第4セクタ

一化や全国から寄付を募る寄付条例制定など利用促進のための方策や具体的なツアープランなど内陸線の現状と課題を踏まえた再生策を提言しました。

内陸線を守ることは地域を守ること一大穂氏

この提言を受けパネラーからは「廃線になりバス運行に転換になるとさらに利用者が減少し、今度はバス路線の存続が危うくなる。その結果、地域交通全体や観光面に影響が出る。限界集落が深刻化する。内陸線を守ることは地域を守ることと同じ(大穂氏)」。観光客は増えているが、経営の状況はかなり厳しい。乗車運動にも努めているが、市職員の利用でも定期利用やフレックスタイム導入が進んでいない状況。また利用者の多い地域と角館・鷹巣地域、また高齢者とマイカー利用者間での運動に対する温度差も大きく心配している(竹村氏)。

▽アイデアはいろいろあるようだが沿線地域が連携してより大きな取り組みにならないと効果がない。個々のアイデアを橋渡しする組織が必要(櫻田氏)といった課題や意見が出されました。

また、厳しい現状はあるものの▽

インターネットでの発信、旅行代理店のモニターツアーなどもっと利用すべき。観光客の居住地や年代を分析したマーケティングも大切。テレビや映画作品のロケ地を誘致するフィルムコミッション活動が盛んな地域もある。最近では『エコツアー』も人気。マタギによるアウトドア体験なども関心がもたれるのでは。安齋氏や北秋田市、仙北市をまたいでさまざまな事業に取り組むプロジェクトセンターをつくり、「農村温泉村」や「工房村」など沿線地域一体で特徴のある拠点づくりを進めては(櫻田氏)といった具体的な提案やアイデアが紹介されました。

市民1人年間3回の乗車運動にご協力を一竹村氏

ディスカッションの最後で竹村氏からは「内陸線の存続については損益論だけでは成り立たない。しかし、そのことを理解してもらうためには、熱意を示すための具体的な数字が必要。沿線住民の一人ひとりが年間3回利用してもらえばその目標を達成できる。ぜひご協力を」との呼びかけがあり、来場者も拍手で応えていました。



▲再生計画の目標達成には、沿線住民一人ひとりの協力が必要です(写真は、乗車運動として今年7月に行われた栄婦人会・JA女性部栄支部の内陸線での旅行)

裁判員制度フォーラム in 北秋田

裁判員制度の理解を深める裁判員制度フォーラム in 北秋田が10月28日(日)北秋田市中央公民館で開催されました。

同制度は国民が重大な刑事裁判に参加して証拠に基づいて裁判官と一緒に被告人が無罪か有罪か有罪ならどんな刑にすべきかを議論・評議し決定・評決する制度で、2009年5月までに導入されることになっています。



近藤支部長の説明を真剣に聞く参加者

この日は、一般の市民も加わって進める同制度の概要や、裁判員が選任されるまでの手続き、辞退できる場合などをわかりやすく解説した映画「裁判員」へ選ばれ、そして見えてきたもの、め上映に続き、秋田地方裁判所大館支部の近藤裕之支部長が裁判員制度のポイントを解説しました。

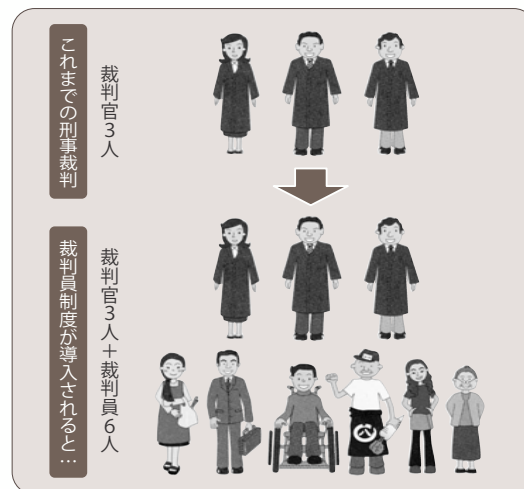
最後に行われた質疑応答では、「候補者名簿は毎年更新されるのか」「事件の内容が裁判員に伝えられるのはいつの時点か」「裁判の当日に大量の書類を見せられても、時間的に事件の内容を理解するのは無理ではないか」等の質疑があり、参加者の制度に対する関心の高さが伺えました。

裁判に参加していただくことで、裁判を身近に感じていただき、分かりやすい裁判の実現を通して、司法への信頼が高まっていくことが期待されています。



裁判員制度とは

裁判員制度は、国民の皆さんに刑事手続のうち地方裁判所で行われる刑事裁判に参加してもらい、被告人が有罪かどうか有罪の場合どのような刑にするのかを裁判官と一緒に決めてもらう制度です。原則として裁判員6人と裁判官3人が一緒に刑事裁判の審理に出席し、証拠調べ手続や弁論手続に立ち会った上で、評議を行い、判決を宣告します。



●裁判員に選任されるまでの流れ●

1. 裁判員候補者名簿の作成
選挙権のある人の中から翌年の裁判員候補者となる人を毎年抽選で選び、裁判所ごとに裁判員候補者名簿を作ります。この名簿に載った方にはその旨を通知します。

2. 事件ごとに、裁判員候補者が選ばれます
実際に裁判員裁判を行うことになった際に、裁判員裁判の対象となる事件ごとに、裁判員候補者名簿の中からさらにくじでその事件の裁判員候補者を選び、呼出状を送ります。呼出状には裁判員を務めていただく期間を記載する予定です。通常は、同時に質問票をお送りして、辞退事由等の有無を確認します。

3. 裁判所で、候補者から裁判員を選ぶための手続を行います
裁判長から事件との利害関係の有無、不公平な裁判をするおそれの有無、辞退希望の有無・理由などについて質問されます。(通常は裁判当日午前中)

4. 裁判員となる人を決定します
裁判所は辞退を認めるか、不適格事由に該当しないかなどを考慮しつつ、最終的にはくじも交えて裁判員6人を決定します。必要な場合は補充裁判員も選びます。

5. 裁判員裁判が始まります(通常は裁判当日午後)

裁判員制度Q&A

◆裁判員に選ばれたらどのようなことをするのですか

答 次のような仕事があります。

① 公判に出席する裁判員に選ばれたら、裁判官と一緒に刑事事件の審理(公判)に出席します。公判では、証拠として提出された物や書類を取り調べるほか、証人や被告人に対する質問が行われます。裁判員が質問することもできます。

② 評議 評決をする証拠に基づいて、被告人が有罪か無罪か、有罪だとしたらどんな刑にするべきかを、裁判官と一緒に議論し、決定します。

③ 判決の宣告 評決内容が決まると、法廷で裁判長が判決を宣告します。

◆裁判員になることを辞退することはできますか

答 原則として辞退できないことになっています。ただし、次のような人は申し出をして、裁判所から認められると辞退することができします。

① 70歳以上の人 ② 学生 ③ 一定のやむを得ない理由があつて、裁判員の職務を行うことが、裁判員が行くことが困難な人(重い病気や怪我、同居親族の介護や養育、事業に著しい損害が生じるおそれがあること、父母の葬式等)

◆裁判員に選ばれる確率はどのくらいですか

答 秋田県内で裁判員に選ばれる確率は平成17年の場合、秋田地方裁判所で該当になる裁判は15件で、有権者約96万人の中から選ばれる確率は約1万700人に1人、北秋田市の場合で試算すると1年間に3人～4人が選ばれる計算となります。

私の視点、私の感覚、私の言葉で参加します。



市では高齢者の感染症予防のためインフルエンザ予防接種の一部公費助成を行っています。接種を希望される方は、かかりつけの医師とご相談のうえ、接種を受けられることをお勧めいたします。

■接種対象者

①接種日において満65歳以上の方

②60歳以上65歳未満で、心臓・じん臓または呼吸器の機能等に身体障害者手帳1級程度の障害を有する方（事前に保健センターに申し込んでください）

■実施期間

平成20年1月31日まで

■接種回数

1回

■助成金額

1人 1500円（接種料金が1500円未満の場合はその実費額）

■自己負担額

医療機関によって料金が異なるため、市が助成する1500円を差し引いた金額となります（生活保護受給者は無料です）

■申込方法

秋田県内のほとんどの医療機関で接種を受けられます。実施医療機関に直接予約のうえ接種を受けてください。

市内インフルエンザ予防接種実施医療機関	盛岡妇科医院	62-1101
北秋中央病院	佐々木産婦人科医院	63-0105
としま医院	国民健康保険合川診療所	78-3161
鷹巣病院	佐藤外科消化器科医院	62-1420
奈良医院	疋田外科内科医院	78-3338
うえだクリニック	たかのす村クリニック	62-5655
藤原医院	公立米内沢総合病院	72-4501
遠藤クリニック	たむら内科クリニック	63-2700
毛利整形外科クリニック	市立阿仁病院	82-2351
近藤医院	津谷内科	62-2261



■接種時に必要なもの
健康保険証、健康手帳
◎問い合わせ 市保健センター
☎62-6666

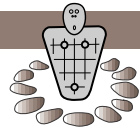
インフルエンザを
予防しましょう

市民プール 11月の教室

◎お問い合わせ ☎62-5001

	スキndaイピング教室		成人水泳教室	
内 容	マスク・フィン・シュノーケルを使ってスキndaイピングを体験します（ボンベは使いません）		初級水泳教室	中級水泳教室
			泳げない方から、もっと上手に泳ぎたいと思っている方まで、親切丁寧に指導します（同時開催）	
期 日	6、13、20、27	8、15、22、29	7、14、21、28	
時 間	14：00～15：00	16：00～17：00	14：00～15：00	
対象・定員	一般成人 5名	一般成人 5名	一般成人 各教室 5名	
講 習 料	3,000円	3,000円	各教室 3,000円	
持 参	水着、水泳帽、ゴーグル、バスタオル		水着、水泳帽、ゴーグル、バスタオル	
	上級水泳教室	水中健康教室	ストレッチング教室	A D L 体操教室
内 容	一緒に練習して大会出場を目指しましょう。細かいフォームも指導します	水中で気持ちよく全身を動かし、軽い体操や水中で歩行等をします。アクアビクスもやります	身体の筋肉をバランス良く伸ばし、筋肉の緊張をほぐして血液の循環を良くし、肩こり、腰痛の改善・予防をします	ADLとは日常生活動作能力のことです。歩く、立つ、座る動作の維持と向上、回復を目的とし、イスを使って安全に楽しく簡単にできる運動です
期 日	7、9、14、16、21、23、28、30	9、16、23、30	7、14、21、28	8、15、22、29
時 間	18：00～19：30	14：00～15：00	10：00～11：00	14：00～15：00
対象・定員	高校生・一般成人 月4回5名／毎回5名	一般成人 20名	一般成人 15名	自立している成人 15名
講 習 料	3,000円／5,000円	3,000円	3,000円	3,000円
持 参	水着、水泳帽、ゴーグル、バスタオル		運動しやすい服装、シューズ、タオル	
備 考	電話での申込みはできません。プール受付の申込用紙に必要事項を記入し講習料を支払ってください。（印鑑必要）／講習料の他に毎回入館料が必要です。（年間券・回数券も使えます）／各教室3,000円の講習料ですが2つの教室を申し込みの方は5,000円となります。			

※お一人各教室1回無料体験ができます



伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ 発足10周年を祝う

国指定・伊勢堂岱遺跡のガイドや保存、PRなどを進めているボランティアグループ「伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ（佐藤喜美男代表）」の発足10周年記念式典が10月26日、市内のホテルで開かれ、グループのメンバー、関係者らがこれまでの活動を振り返るとともに、世界遺産登録などに向けてさらなる取り組みを誓い合いました。



▲活動を振り返るビデオの上映や記念講演などで節目を祝った伊勢堂岱遺跡ワーキンググループの発足10周年記念式典

この10年間の活動は「一期一会」に尽きる（佐藤代表）
同グループは遺跡の発掘や現地保存が決まり調査が始まったことをきっかけに、当時の鷹巣町の遺跡の保存や文化財のあり方を考えるため、平成9年7月に30人ほどの有志が参加した。式典でははじめに佐藤会長が「この10年間を一言で言うと一期一会。伊勢堂岱遺跡を訪れた人、自分たちが研修で訪問した遺跡の関係者など、まさに人とのふれあいに尽きる。これから遺跡に関わり、少しでもお役に立ちたいなど」とあいさつ。続いて「年間の活動を写真や映像で振り返るビデオ上映が行われました。発足当時、三内丸山遺跡など各地の遺跡、博物館を見学したときの写真や伊勢堂岱遺跡の成り立ちを紹介するため、小学校児童が出演し、縄文まつりで上演したワーキング制作の縄文祭礼劇のようすがナレーショ

ン入りで紹介され、特に発足当時からメンバーは懐かしそうに当時の振り返っていました。
この後、同遺跡調査検討委員会委員長の小林達雄（雄略学院大学教授）による記念講演が行われました。
縄文文化は世界に通用する世界観を持つ（小林教授）
演題は「世界遺産としての伊勢堂岱遺跡」。小林教授は「縄文時代の幕開けは今から約1万5千年くらい前、その前の旧石器時代との大きな違いは、定住しムラを営むようになったこと。縄文革命」といふ。一ロツパでは農耕が行われていたが、狩猟・採集・漁労を3本柱として暮らしていた縄文人の生活が農耕文化と比べて劣っている。という見方は正しくない。自然を克服・対峙しようとした縄文人の選択肢の違いにすぎない。など、縄文文化の成り立ちを説明。

その上で「縄文文化はこのように十分世界に通用する世界観を持っている。伊勢堂岱遺跡の世界遺産への登録に際しても、それだけの価値を有することを再認識してほしい」と訴えていました。
講演の後、ワーキンググループ代表の伊藤武さんがボランティア活動を通して、題し発表。伊藤さんは「伊勢堂岱遺跡を知ってもらいたい。縄文文化を学びたい」という気持ちで活動を続けてきた。ガイドなど、最初は手探りの状態だったが、調査検討委員会の先生方の指導で、これまでやってこれた。子どもたちと一緒に作り上げた縄文祭礼劇も、良い思い出になったと、活動を振り返っていました。
この後、関係者が参加しての懇親会が開かれ、思い出を語りながら10年の節目を喜び合いました。
世界遺産には北海道、東北の縄文遺跡群」として申請

なお、世界遺産登録については、青森、岩手、秋田の北東北3県と北海道でつくる縄文遺跡群世界文化遺産登録推進会議が今年6月、世界遺産登録を目指して文化庁に提案する15の遺跡群を北海道・北東北の縄文遺跡群と仮称し運動を展開することを確認しています。

福祉の雪事業

についても、雪寄せが困難な方を支援します

市では、雪で困っているお年よりや障害者のために、社会福祉協議会と一緒に「福祉の雪事業」を行います。

利用できる方は、次の方のうち自力又は近隣の協力を得ながらも、どうしても支援の必要な方です。

- ① 65歳以上のひとり暮らしで雪寄せが困難な方
- ② 65歳以上の高齢者のみで雪寄せが困難な世帯
- ③ 65歳以上の高齢者と障害者若しくは児童のみ等で雪寄せが困難な世帯

扶助限度額は4万円です

計画的に活用ください

雪寄せ、雪下ろし、排雪等の作業料金の8割までで、4万円を限度に支援します。自力でできる範囲を検討・相談の上で、計

【福祉の雪事業を利用する手続き】

- ① あらかじめ申請書を提出し登録されていることが必要です。対象になる方には市から決定通知をします。
- ② 積雪時の出入り口の雪寄せが困難で、依頼される方は、シルバー人材センター等から作業に伺います。
- ③ 雪下ろし、排雪等の作業を依頼される方は、必要の都度（早めに）地区の社会福祉協議会に連絡が必要で、連絡により作業をする方（登録業者）を紹介しします。
- ④ 作業終了後に、利用者が作業者に料金を支払いし、領収書等をもらってください。作業業者は、領収書控を添えて地区の社会福祉協議会に作業の終了を報告ください。
- ⑤ 社会福祉協議会が扶助費の請求手続きを行います。市役所で、対象になる扶助額を指定振込み先に振り込みます。作業費用の総額で計算しますので、手続きに時間がかかる場合が予想されますので、ご了承ください。



画的に制度を活用ください。支給限度額を超えると全額自己負担になります。

この事業は、作業費用の支給を行うものであって、建物管理を行うものではありません。生活支援事業のため、空き家や不在の家等は対象になりません。

申請先・お問合せ先
市役所高齢者支援課・各支所市民福祉課
市社会福祉協議会・地区の地域福祉センター
※所定の申請用紙があります
※地区の民生児童委員の方々にも手続き案内をお願いしています。

市長日誌

◇10月16日～31日

- 16日（火）▽北秋田市災害対策本部会議を開催し、本部の解散と災害復旧支援室の設置を決定（本庁舎）
17日（水）▽秋田内陸線の県議会建設交通委員会による調査へ立会い（阿仁支所）
18日（木）▽災害復旧支援室の発足に伴う辞令を交付（本庁舎）
19日（金）▽森吉山ダム堤体盛立完了式に出席（森吉山ダム建設地）▽北秋田市議会全員協議会に出席（市議事堂）
21日（日）▽第20回東京鷹巣会総会・懇親会に出席（東京都）
22日（月）▽第12回森吉山工コダム検討会に出席（秋田市ルポールみずほ）▽秋田国際木彫シンポジウムファイナルセレモニーに出席（ホテル松鶴）
23日（火）▽第41回秋田県連合会三市二郡地方大会に出席（北秋田市交流センター）
24日（水）▽第151回東北市長会総会（八幡平ロイヤルホテル）
26日（金）▽第26回秋田県公立小中学校事務研究大会大館北秋田大会に出席（北秋田市文化会館）▽伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ10周年記念式典に出席（ホテル松鶴）▽北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議に出席（鷹巣体育館）
28日（日）▽経済産業大臣より企業立地促進法に基づく基本計画の第3号同意に係る同意書の交付を受け、その後、地域経済産業活性化対話に参加（経済産業省）
30日（火）▽東北直轄ダム連合会幹事会に出席（あゆっこ）
31日（水）▽中嶋喜代氏各種授賞祝賀会に出席（中央公民館）

受章おめでとうございます

秋の叙勲
本市から4氏受章

平成19年秋の叙勲が11月3日の文化の日に発表され、本市からは、地方自治功労で元県議会議員の北林照助氏（米内沢字薬師下）が旭日中綬章、教育功労で元高等学校長の秋元哲郎氏（鷹巣字西上綱）が瑞宝小綬章、地方自治功労で元森吉町収入役の白澤昭喜氏（桂瀬字岩堂上岱）が瑞宝双光章、消防功労で元合川町消防団分団長の杉淵繁氏（増沢字小瀬渡場）が瑞宝単光章を受章しました。

旭日中綬章



北林照助氏
(79歳) 経て、昭和46年
から今春まで8
期32年を連続し
て県議会議員と
してご活躍され
ました。その間、
農林水産、総務
企画の各委員
長を歴任され、
平成3年から1
期2年間、県議
会議長を務めら
れました。少子化
などに伴う人口問
題にいち早く着目
し、少子化対策の
充実を訴えること
とともに、空港建
設では、自ら搭乗
者予測を調査する
などして、平成10
年の大館能代空港
開港（あきた北空
港）に向け



秋元哲郎氏
(73歳) 昭和35年
から26年間、鷹
巣農林高校に勤
務され、以後、
能代農高教頭、
金足農高教頭、
増田農高教頭を
経て、鷹巣農林
高校長を歴任さ
れました。その間、
進路指導や特別
教育活動の充実
に努め、県の高
等学校農林業教
育の発展に尽力
されました。
教諭時代は主に
林業を指導し、
部活・進路指導
の面から細部に
わたって生徒た
ちと向き合い、
鷹巣農林高校長
時代、公務員合
格率日本一に導
きました。また、
平成16年11月
には実業関係の
教育に長らく携
わったとして文
部科学大臣表彰
を受賞されてい
ます。

瑞宝小綬章

ご尽力され、県はもとより北秋田地域に多大なる功績を残されました。

瑞宝双光章



白澤昭喜氏
(75歳) 昭和60年4
月から平成元年
3月まで、同6年
4月から同14年
3月まで2期、
通算12年間に渡
り収入役を在任し、
財政の維持・管理、
地域行政を円滑に遂
行されるなど、地方自
治の振興にご尽力され
ました。その間、森吉
山ダムの建設促進、四
季美館、クウインス
森吉の整備など観光
の振興に多大な功績
を上げられました。さ
らに平成10年には、
霊峰森吉山に皇太子
殿下を招いて、日本
最大のスカウトの祭
典「日本ジャンボリ
ー」に携わるなど多
大な業績を上げられ
ました。

瑞宝単光章



杉淵 繁氏
(74歳) 昭和27年
に下大野村消防団員
として入団し、同
30年の町村合併後
は合川町消防団員
として、35年余り
の長期間にわたり
消防発展にご尽力
されました。その
間、昭和50年から
部長、同59年から
副団長を務められ
ました。また、昭和
58年5月26日に
発生した日本海中
部地震では、津波に
さらわれた合川南
小学校の児童捜索
のため、現場で陣
頭指揮を執るなど、
消防団員として地
域住民の生命と財
産を守ることに多
大な貢献をされま
した。

35年余りの長期間にわたり消防発展にご尽力されました。その間、昭和50年から部長、同59年から副団長、同60年から62年8月まで分団長を務められました。また、昭和58年5月26日に発生した日本海中部地震では、津波にさらわれた合川南小学校の児童捜索のため、現場で陣頭指揮を執るなど、消防団員として地域住民の生命と財産を守ることに多大な貢献をされました。

平成19年度
市文化祭

文化活動の成果
多彩に

芸能発表
作品展示

▲19年度北秋田市芸術文化功労賞・奨励賞受賞者のみなさん



平成19年度北秋田市文化祭が11月2日から4日までの日程で開かれ、会場の市文化会館（演示の部）や、阿仁ふるさと文化センター及び阿仁開発センター（展示の部）には大勢の市民らが訪れ、芸能発表や各種展示作品の鑑賞で文化の秋を満喫しました。



2日に行われた文化会館での開会式では、はじめに19年度北秋田市芸術文化功労賞・奨励賞の授与式が行われ、功労賞は、長年にわたる市の芸術文化の振興に貢献された方に、奨励賞は優れた芸術作品などを創作された方などに贈られるもので、功労賞は松岡美代治さんなど3人が、奨励賞は金美和さんら3人が受賞しました。授与式では、岸部市長から一人ひとりに賞状と記念品がわたされた後、受賞者を代表しました。

表して松岡美代治さんが「身に残る感激の念でいっぱい。受賞はひとえに仲間や地域に支えられたたまもの、微力だが精進を重ね、地域に育つ文化の向上と発展に努めたい」と謝辞を述べられました。開会式に続き、旧森吉町時代に創られながら未発表となっていた、奥森吉讃歌の発表会が開かれ、コール・もりよし合唱団が奥森吉讃歌の2曲「夢の中」作詞・富樫弘さん「行くまげらの森作詞・工藤與助さん」を合唱で発表しました。

ダンスサークル「日舞」など各団体の発表が行われました。また、各種作品の展示会場となった阿仁ふるさと文化センター・山村開発センターにも途切れることなく市民が訪れ、幼児・児童生徒の絵画・書道作品、パッチワークやビーズ手芸、写真、切り絵、俳句、押し花など公民館講座や自主講座の活動による作品の鑑賞やお茶席で、多彩な文化活動の成果を楽しみました。

平成19年度北秋田市文化功労賞・奨励賞の受賞者は次のとおりです。

■芸術文化功労賞受賞者
▽松岡美代治氏（78）＝米内沢字柳原▽山田礼子氏（79）＝阿仁銀山字畑町▽佐々木敏雄氏（73）＝坊沢字福田
▽金美和氏（74）＝米内沢字寺の下▽片山幸子氏（61）＝下杉字狐森▽嶺脇重宏氏（48）＝花園町

▲たかのす朗読ボランティアやまじこは、演示発表の幕間に絵本や民話などを朗読しました



▲「アンコール！」の声がかかったリズムダンスサークル（子ども）の発表

▲得意のレパートリーを披露した阿仁カラオケ同好会



奥森吉讃歌を発表するコールもりよし合唱団



▲園児・児童生徒の絵画作品も写真は阿仁合小中学校作品



▼世界でひとつだけのオリジナル作品の数々（パッチワーク菊地教室）



▲あでやかな舞で会場を魅了した日本舞踊「藤蔭流子ども舞踊教室」のみなさん



▲見事なノドを披露した合川民謡同好会



▼息の合ったステップはダンスサークル阿仁のお2人。踊りはタンゴ「ラ・クンパルシータ」



▲素朴な響きで会場を癒やしたオカリナ演奏の「ウインズ・オカリナ」



「詩吟 前田喜栄会」



▼秋の植物で季節感を表現した生け花作品（花旺会）



▲色鮮やかな草木染め作品も（写真はあかね会）





ヤマザクラなどの苗木120本を市民らで植樹

森林を大切に育てよう

～全国植樹祭阿仁地区記念植樹

来年度の6月15日に開催される全国植樹祭の記念事業として11月3日、阿仁地区で銀山町内会、幸屋渡地区の市民約60名が参加し、ヤマザクラなどの植樹が行われました。この植樹は、市民の協働により樹木を植えて育てることを目的に、全国植樹祭推進室が主催。植樹されたのはヤマザクラ、ヤエザクラ、レンゲツツジの苗木120本で、多くの市民が観賞できるよう各集会所周辺やグラウンド・テニスコート周辺に植えられました。当日会場には「森つち」が訪れ、森林を大切にすることを将来の世代に引き継ぎたいと思いを込めて作業をする市民を激励し、かわいしくさで全国植樹祭をPRしていました。



商店街通りを歩行者天国にして行われた軽トラック市

新鮮な野菜・果物はいかが

～鷹巣駅前商店街通り 軽トラック市

新鮮な野菜や果物、山菜などを軽トラックに満載して販売する軽トラック市が11月4日、鷹巣駅前商店街通りで行われ、買い物に訪れた市民らで賑わいました。このイベントは、まちの賑わいづくり事業の一環で、当日、歩行者天国となった鷹巣駅前商店街通りには新鮮な野菜や果物を積んだ軽トラックが15台、フリーマーケットの参加者16団体、また、商店街の各商店が軒先に商品を並べるなどし、新鮮野菜などを求める買い物客で通りには活気に満ちていました。今年初となったこの軽トラック市は、来年度5月頃に再開し、月1回のペースで開催される予定です。



おいしい比内地鶏を市内外にPRしようと行われた「比内地鶏の美味い店」旗揚げ式

美味い比内地鶏料理をPR

～「比内地鶏の美味い店」旗揚げ式

北秋田市うめーもん創作協議会（松田正男会長）による「比内地鶏の美味い店」旗揚げ式が10月22日、市内のホテルで開かれ、比内地鶏メニューを提供する飲食店の経営者らがロゴ入りののぼりを手に氣勢を上げました。旗揚げ式は、比内地鶏メニューを提供する24業者25店の店先や商店街などにのぼり旗を掲げ、パンフレットなどを配布、北秋田の「美味い」比内地鶏料理を市内外にPRするセレモニーとして行われたものです。掲揚店では、共通メニューとして比内地鶏を使った親子丼が用意されるほか、焼き鳥、刺身、から揚げなどその店オリジナルのメニューも提供されることになっています。

ふるさとの味を懐かしむ

第20回東京鷹巣集會・第21回東京ふるさと森吉会総会



地元の特産品販売や故郷の味を堪能した懇親会

写真上：第20回東京鷹巣集會

写真下：第21回東京ふるさと森吉会

首都圏に在住する旧鷹巣町出身者の会東京鷹巣集會の第20回総会・懇親会が10月20日、東京都内のホテルで開かれ、関係者およそ190人が郷土の話題などで旧交を温めました。菊地靖孝会長は「東京鷹巣集會は首都圏在住者とふるさと鷹巣との慕情の架け橋となる大きな役割」などあいさつ。引き続き岸部市長が9月19日の豪雨災害について被災報告やその対応などについて説明しながら、20年の節目を祝いました。この後参加者たちは、きりたんぼなどの郷土の味を堪能しながら、鷹巣マンドリンクラブの演奏を楽しみました。

また、第21回東京ふるさと森吉会総会が10月28日、東京都のアルカディア市ヶ谷で、市関係者ら約150名が参加して開催され、一年ぶりの再会となった一日を楽しみました。総会で松岡利男会長が先の豪雨災害に触れながら「人との出会いを大事にし、輝かしい未来に向かって進んでいきたい」とあいさつ。交流会ではマルメロワインで乾杯するなどしてふるさとの味を楽しみ、最後は全員で「故郷」を大合唱して、来年度の再会を誓い盛会に終了しました。また会場では地元から持ち込んだ特産品が販売され、ふるさとの懐かしい味を求めて完売になるほどの盛況でした。

ふるさとの味を届けます

～合川ふるさと会「ふるさと便」

全国各地にふるさとの味覚をお届けする、合川ふるさと会の「ふるさと便」の発送が10月23日、大野台ハイランドハウスで行われました。

ふるさと便は、合川地区にゆかりのある方や、合川出身者、旬のふるさとの味を楽しみにしている方などに、会員制で旧合川町が昭和62年から実施しているもので、今年で21年を迎えました。

今年の第1便は、合川産新米あきたこまちをはじめ、さつまいも、味噌、梅漬など地元で収穫された食材を、首都圏を中心に北海道から九州などに142個を発送しました。



ふるさと便の発送作業を行う作業員

学びの広場

●公民館活動 ●生涯学習
●文化振興 ●学校 ●スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会

森吉大学の移動
研修が10月23日、
約60人の受講生が
参加して行われま
した。

午前中は、にかほ市の「T
DK歴史館」でT D Kのあゆ
みとものづくりの歴史について説明を受けながら見学
し、普段使っている携帯電話や自動車にフェライトが
使われていることなどを学びました。また、午後から
は「白瀬南極探検記念館」を見学し、ものない時代
に南極探検を行った白瀬巖らの偉業を学びました。

にかほ市で博物館などを見学

森吉公民館「森吉大学移動研修」



◀ T D K歴史館で担当者から説明
を受ける受講生

天候にも恵まれ、有意義な移動研修となりました。

潤いのある花の出来上がり

中央公民館定期講座「ガーデニング倶楽部」

中央公民館定期講座「ガーデニング倶楽部」の第
4回目が10月27日、鷹巣農林高校で行われました。
学校教諭でもある松岡誠三先生を講師に迎え、は
じめに秋植え球根の植え方などの基本的知識につ
いて学び、その後実際にダリアやストックをプランタ
ーへ丁寧に鉢植えしました。
受講生は心をこめて作業を進め、美しく仕上が
った「作品」に満足していた様子でした。



◀ 秋植え球根の植え方などガー
ニングのコツを学びました

心地良い汗でスポーツの秋を満喫

合川公民館 合川婦人会「梅の木運動会」

第28回梅の木運動会が10月28日、合川体育館で開
催され、合川婦人会の梅の会会員150人がスポーツの
秋を満喫しました。
梅の木運動会は、会員の健康、体力の増進と融和を
目的に毎年開かれています。地区ごとに紅・白・青の
3チームを編成し、「まと火りレー」「フルムーン旅行」
など、アイデア一杯の競技に好プレー・珍プレーが続
出。各チームによる応援合戦と相まって、白熱した接
戦が繰り広げられました。



◀ 笑いも絶えなかった合川婦人会
の梅の木運動会

競技終了後、全員で「炭坑節」、「オクラホマミキサ
ー」を踊り、親睦と交流を深めました。



22団体5個人が受賞

平成19年度北秋田市花だんコンクール

平成19年度北秋田市花壇コンク
ールの表彰式が11月6日 中央公民
館で開かれ 市長賞 花いっぱい運
動推進協議会長賞などの受賞者が
表彰を受けた。

花壇コンクールは 花と緑に囲ま
れたうのおいあるまちづくりを推
進するため 地域の皆さんが手がけ
た魅力 ippaiの花壇を毎年表彰



▲市長賞を受賞し
た花壇(上=鷹巣中
央小学校、右=春日
幸子さん宅)



しているもので 今年度のコンク
ールには 22団体5個人の応募があり
ました。
表彰式でははじめに 北秋田市花
いっぱい運動推進協議会の松岡福
太郎会長が「受賞された皆さんの
花壇はすばらしいものばかり 来年
開かれる全国植樹祭でも花いっ
ぱいの市を紹介したい。ぜひ皆さん
のご協力をと受賞者を称えること
に 今後の花いっぱい運動への高ま
りに期待を寄せました。
この後 コンクールの松岡誠三審
査委員長の講評がありました 松岡
さんは「受賞された花壇は いずれ
も手入れが行き届き 花を生き生き
と見せる工夫がなされていた また
個人でも ご近所に見ていただくこ
と意識したり、ご夫婦で仲良く手入
れをされている花壇は 花もより美
しく見える などと 講評と花壇づ
くりのコツなどを述べていました。
教育長賞を受賞した大阿仁小学
校からは 花だんづくりに取り組ん
だ児童2人も出席うち 新屋湧君6
年)は「花だん作りをはじめてから
花が咲くまで2ヶ月ほどかかった。
水やりなどがたいへんだったが み
んなの力で育てたのでほんとうに

うれしいと話していました。

表彰者は次のとおりです(敬称略)。

■市長賞 鷹巣中央小学校 春日
幸子(家庭の部)

■市議会議員賞 鷹巣南中学校

■教育長賞 前山婦人会 大阿仁
小学校

■中央公民館長賞 道城寿クラブ
希望会 堂ヶ岱老人クラブ 栄婦
人会 摩当支部 松尾フミ家庭の部)

■花いっぱい運動推進協議会長賞
西横町花だんの会 南鷹巣町内
会 鷹巣南小学校 沢口老人クラ
ブ 連絡協議会 渡辺敦子(家庭の部)

最優秀賞1名/優秀賞2名
アイデア賞1名
※応募者全員に参加賞があります。
漬け物の盛りつけは出品者にお願
いします/試食用の漬け物を準備し
てください
北秋田市、上小阿仁村の小中学生の
ほか婦人会2名、老人クラブ2名、
行政機関2名
11月19日(月)
北秋田市教育委員会生涯学習課
☎62-6618 FAX 63-2678

第2回 我が家の味自慢大会

「漬け物コンクール」出品募集

■開催日 12月1日(土)
午前10時~11時30分
■会場 森吉コミュニティーセンター
■主催 北秋地区生涯学習奨励員協議会
■出品対象者 北秋田市民・上小阿仁村民
(一人何点でも出品できます)
■入賞 最優秀賞1名/優秀賞2名
アイデア賞1名
※応募者全員に参加賞があります。
漬け物の盛りつけは出品者にお願
いします/試食用の漬け物を準備し
てください
北秋田市、上小阿仁村の小中学生の
ほか婦人会2名、老人クラブ2名、
行政機関2名
11月19日(月)
北秋田市教育委員会生涯学習課
☎62-6618 FAX 63-2678

— 健康づくり標語 —

みんなで取り組もう
健康家族・「きたあきた」

むし歯のない子(3歳児健診)

高橋 みはる 5歳 元 町
三澤 ゆうと 5歳 松 葉 町

秋田県最低賃金が変わりました

10月28日から秋田県の最低賃金が8円引き上げられました。すべての労働者に適用になります。

秋田県最低賃金

1時間あたり **618円**
問合せ 秋田労働局
☎018-883-4266

雪崩防災週間

— 12月1日～7日 —

雪崩は、大量の雪が降り積もる寒い時期や雪解けの時期に多く発生し、人命を奪う恐ろしい災害です。最近では、住宅地ばかりでなく、冬のレジャー中の雪崩被害にも十分注意が必要です。

第17回鷹巣祇園太鼓審査会

日時 11月23日(金) 13:00～16:00
会場 北秋田市文化会館 ※入場無料
参加団体

①鷹巣小学区 ②東小学区
③南小学区 ④西小学区
⑤綴子小学区 ⑥中央小学区
⑦鷹巣中学校 ⑧鷹巣南中学校 ⑨高校・一般

特別出演 合川新生園

主催 鷹巣祇園太鼓審査会実行委員会
後援 北秋田市・北秋田市教育委員会



平成の無法松 小倉祇園太鼓伝承者
藤枝龍夫さん来訪

■お正月料理講座
日時 12月7日(金) 10時～13時
場所 森吉公民館 調理実習室
講師 料理研究家 田村弘子さん
材料代 1000円程度
持ち物 エプロン 三角巾 筆記用具
定員 20人(先着順)
申込期限 12月3日(月)
申込 問合せ
森吉公民館 ☎72-3259

■手打ちそば体験講座
期日 11月27日(火) 前田公民館
12月9日(日) 森吉公民館
時間 9時～13時(両日とも)
場所 各公民館 調理実習室
講師 若松康夫さん
材料代 1300円(持帰り分含)
定員 15人(先着順)
持ち物 エプロン 三角巾 筆記用具等
申込期限 11月21日(水) ※前田分

12月5日(水) ※森吉分
申込 問合せ
森吉公民館 ☎72-3259

■福祉の雪事業受託者募集
福祉雪事業(11ページ掲載)の作業を受託できる事業者は、市福祉事務所又は支所に申し出てくださいます。
登録受付 11月30日まで
登録期間 11月～20年3月31日
申請先 問合せ
市高齢者支援課 ☎62-1112
及び各支所 市民福祉課
社会福祉協議会 ☎63-2109

■勤労感謝の集い講演会
日時 11月23日(金) 19時30分～
会場 交流センター 講堂 ※入場無料
講師 龍泉寺住職 佐藤俊晃氏
演題 「あの世への道案内」
問合せ シルバー人材センター
☎62-5151

■ちびっこ制服撮影会
日時 11月23日(金) ①10時～12時
②13時30分～15時30分
会場 大館能代空港旅客ビル内
内容 パイロット キヤビンアテンダント・航空整備士 警察官 消防士の子どもの制服を試着(無料)して撮影もできます。来年の年賀状の主役にしてはいかがでしょうか。
問合せ 大館能代空港ターミナルビル
☎62-5330

■創業塾開講
日時 11月24日(土) 25日(日)
12月1日(土) 2日(日)
8日(土) 各日10時～17時
会場 シヤインプラザ平安閣秋田
定員 40名(先着順)
対象 起業意欲が旺盛な方、創業プランをお持ちの方等
受講料 5000円

締切 11月19日(月)
問合せ 県商工会連合会
☎0186-497126

■スギヒラタケの摂食に注意
スギヒラタケの摂食との関係が疑われる急性脳炎・脳症の原因が究明されるまでの間、念のため腎機能が低下していない方も含めた一般の方においても、冷凍・缶詰等保存されているものも含めて引き続きスギヒラタケの摂食を見合わせていただくようお願いいたします。

■税務相談の体制変更(税務署)
11月1日より税務署への電話は、自動音声応答(音声ガイダンス)により受けていますので、アナウンスに従って用件に応じた番号を選択し、もう一度電話相談センター又は税務署にご案内します。

■クリスマスリース作り講座
日時 12月4日(火)
18時30分～20時30分
場所 中央公民館 中教室
講師 高坂厚子さん
内容 クリスマスを手作りリースで飾ろう
持ち物 エプロン ボンド 筆記用具等
材料代 2000円程度
定員 15人(先着順)
申込開始 11月19日(月) 8時30分～
申込締切 11月25日(日) 17時まで
申込 問合せ
中央公民館 ☎62-1130

■手打ちそばづくり講座
日時 ①11月26日(月) 10時～12時30分
②11月27日(火) 18時～20時30分

12月5日(水) ※森吉分
申込 問合せ
森吉公民館 ☎72-3259

■冬の鉢花管理について
(園芸体験研修)
日時 11月26日(月)
10時に阿仁公民館出発
研修は13時～15時
場所 秋田県農業研修センター
生熊系公園(大湯村)
材料代 500円
定員 20人(定員になり次第締切)
問合せ 阿仁公民館 ☎82-2220

■郷土の伝統芸能発表
～合川地区文化交流会・芸文祭～
日時 11月25日(日) 開場9時～
場所 合川公民館(環境改善センター)
内容 ①社会を明るくする運動
作文発表 合川小 中学生5名
②思いの歌唄茶ひまわり
③猿倉人形芝居
※入場無料
問合せ 合川公民館 ☎78-2114

■パソコン講座(ワード初級講習)
日時 12月4日 11月14日(計4回)
18時30分～20時30分
場所 上杉あいターミナル2階研修室
内容 ワードのレイアウト調整等
受講料 1000円
申込期限 11月20日(火)
申込み 問合せ
上杉あいターミナル ☎78-9290

■塗装技術向上講習
日時 12月5日(水) 6日(木)
9時～16時
場所 鷹巣技術専門校
内容 建築塗装についての基本的な実作業
対象者 建築塗装業務に携わる方
技能検定を受検される方
受講料 無料(材料費1500円程度)
定員 10名 締切 11月30日(金)
申込み 問合せ
県立鷹巣技術専門校 ☎62-1626

■合同親子教室に「色りぼん」
日時 11月30日(金) 10時～12時
場所 市保健センター
内容 親子でリズムを楽しもう
講師 佐藤美津子氏
(鹿角市在住)
問合せ 市保健センター
☎62-6666

■公民館

中央公民館 ☎62-1130

【ロビー展】 鷹巣切り絵同好会
11・17(土)「史談会」文化祭協賛行事
=13:30～15:30

24(土)～26(月)第39回鷹巣絵画クラブ
展 = 9:00～17:00 (26日16:00)

12・8(土)「トライあんぐる」◆クリスマスツリーとお正月飾り作り! = 9:00～12:00

合川公民館 ☎78-2114

【ロビー展】 織り姫クラブ(～12月12日)

18(日)少年ドッジボール大会 = 9:00～12:00
映画鑑賞推進事業 = 9:00～12:30
「稲妻」「華岡青洲の妻」

25(日)合川地区文化交流会 = 9:00～12:00

合川芸文祭 = 13:00～16:00

森吉公民館 ☎72-3259

【サロン展】 森書会(～30日)

阿仁公民館 ☎82-2220

【ロビー展】 長岐春春個展(16日～30日)

18(日)大阿仁分館祭 = 10:00～13:00

環境改善センター(大阿仁分館)

28(水)生き生き大学第4回学習会 = 13:00～15:00

■文化会館

▼18(日)婦人芸能祭 = 9:00～一般1000円

▼23(金)第17回鷹巣祇園太鼓審査会

= 13:00～入場無料

舞踊集団「花やか」

= 18:30～一般3,000円

■スポーツ

▼11・18(日)合川地区少年ドッジボー

ル大会 = 合川体育館

▼23(金)大館北秋剣道段位審査会 = 鷹

巣体育館 / 中学校新人バレーボール

競技森吉大会 = 森吉スポーツ

▼25(日)北秋田市J Cカップ

(バレーボール) = 鷹巣体育館

▼29(木)大館北秋田書写展審査会

= 鷹巣体育館

▼12.2(日)市民卓球大会

= 鷹巣体育館

税の納期限

国民健康保険税 第5期

11月30日まで

人口と世帯数

前月比
総人口 39,293人 (35人減)
男 18,555人 (18人減)
女 20,738人 (17人減)
出生 17人 転入 45人
死亡 36人 転出 61人
世帯数 14,781世帯 (3世帯減)

※10月31日現在住民基本台帳による

夜間当番医(診療) 日程表

(診療時間 午後6:30～9:00)

日	曜	医 療 機 関 名	電話番号
16	金	佐藤外科消化器科医院	62-1420
17	土	うえだクリニック	60-1055
18	日	奈 良 医 院	62-1146
19	月	阿 仁 病 院	82-2351
20	火	と し ま 医 院	62-1267
21	水	藤 原 医 院	62-2882
22	木	盛 岡 外 科 医 院	62-1101
23	金	近 藤 医 院	62-1155
24	土	佐々木産婦人科医院	63-0105
25	日	北 秋 中 央 病 院	62-1455
26	月	公立米内沢総合病院	72-4501
27	火	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
28	水	疋田外科内科医院	78-3338
29	木	津 谷 内 科	62-2261
30	金	国民健康保険合川診療所	78-3161

■次の事項をご確認ください

▼診療の対象となるのは応急の診察を要する方です。仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に応じかねます。▼往診はしていません。年齢・病気の病状にかかわらず事前に当番医に電話等で相談ください。

菊地 都 穂 ちゃん (啓之 長男) 阿仁比内
春日 碧 貴 ちゃん (重幸 二男) 五味堀
成田 和 磨 ちゃん (浩子 長男) 新 町
佐藤 凛 凧 ちゃん (善文 長女) 松ヶ丘
相馬 匠 ちゃん (ニナ 長男) 上舟木
長谷川 蘭 ちゃん (忍仁 長女) 舟 場

お誕生おめでとう
ございます

慶弔だより

10月16日～31日届出分

田 柏 工 三 吉 佐
村 木 藤 澤 田 藤
真 昌 美 美 誠
紀 晃 幸 幸 幸
さん さん さん さん さん
南 堂 大 前 七
鷹 ケ 館 館 日
巢 岱 市 野 市

お二人の前途を
祝福します

佐藤 洋 子 さん (77 歳) 小 森
小笠原 良 夫 さん (50 歳) 前 山
佐藤 リ エ さん (82 歳) 吉 沢
大川 安 登 さん (79 歳) 旭 町
三 上 芳 幸 さん (70 歳) 東 綱
佐藤 ナ ツ さん (90 歳) 筑 新 巖 野
畠 山 美 道 さん (76 歳) 坊 沢 深 閑
小坂 文 孝 さん (57 歳) 柴 摩 当
福 嶋 和 正 さん (88 歳) 綴 子 下 町
戸 澤 義 弘 さん (81 歳) 往 吉 町
櫻 田 フ ク エ さん (98 歳) 本 丁

おくやみ申し上げます



お知らせ

■市交際費を公開します《10月》
慶弔費7万5000円(6件)▽
会費4万3796円(7件)▽その
他11万7800円(3件)▽合計23
万6596円(16件)
※交際費は市長代理で副市長等が
出席している分も含んでいます。
■入札結果の公表《10月》
《250万以上の契約状況》
村づくり交付金事業 農業集落排
水単独事業 道城地区第04201
号工事▽4063万5000円▽
(株)佐藤庫組/同第04202号
工事▽1097万2500円▽(有)
宗和/道整備交付金事業 市道大野



台幹線)舗装新設工事 1工区)▽
9660万円▽秋田土建(株)▽同
(2工区)▽9198万円▽(株)佐藤
庫組
■鷹巣図書館休館のお知らせ
11月28日～12月5日まで蔵書点
検のため休館いたします。
図書返し忘れはありませんか?
休館中の図書返却は文化会館入口
のブックポストをご利用ください。
問合せ 鷹巣図書館
☎623311

全国物価統計調査にご協力を!

11月21日に「平成19年全国
物価統計調査」が実施されます。

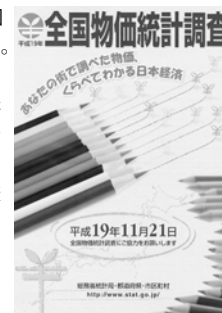
この調査は、物価対策のため
の基礎資料として消費者が購
入する主な商品の販売価格や
サービスの料金などを調査す
るもので、国の重要な統計調査
です。

一定の統計上の抽出により、
選定された全国で約13万の小
売店舗と約4万の飲食店・サー
ビス事業所等に対して、任命された調査員や市(統計担当)、
総務省統計局が行います。

調査された事項は、統計を作るためだけに用いられ、そ
の他の目的に使われることはありません。

調査にご協力くださるようお願いします。

あなたの街で調べた物価、くらべてわかる日本経済



市有財産(土地)の売却

市有財産を一般競争入札にて売却します
土地の表示

北秋田市川井字鳥屋沢40番8
宅地 434.36㎡(木造2階建て建物あり)
受付期間 11月19日(月)～11月22日(木)
入札日時 11月26日(月) 10:00
入札場所 市役所合川支所 大会議室
問 合 せ 市合川支所企画総務課
☎78-2100

市営住宅入居者募集

- ①明田団地…福田字明田43
木造平屋3DK、浴槽・風呂釜なし
月額 11,000円～18,200円
- ②上新町団地…阿仁水無字上新町東裏17-1
木造2階建3LDK
月額 18,200円～30,200円
- ③比立内団地…阿仁比立内字狐台13-1
木造平屋3DK
月額 9,100円～15,100円
- ④諏訪岱団地…米内沢字諏訪岱31-2
(特定公共賃貸住宅)

木造2階1戸建3LDK
月額 50,000円～70,000円

※④については所得月額200,000円超601,000円
以下の方の申し込みになります。

※①から④ともに単身者は申し込みできません
※家賃は入居世帯の人員、所得等により変動します

敷 金 家賃の3ヵ月分

入居資格 ・収入基準を満たすこと

・住宅に困窮していることが明らかなこと
・公租公課を滞納していないこと

・その他、窓口にて簡単な調査があります

募集期間

11月19日(月)～28日(水)※土日を除く
申込み・問合せ

①は合川支所産業建設課 ☎78-2115

②③は阿仁支所産業建設課 ☎82-2114

④は森吉支所産業建設課 ☎72-3112

吉永小百合・高橋英樹・市川雷蔵・高峰秀子・山口百恵が、大スクリーンに登場

優秀映画鑑賞会

平成19年度
北秋田市文化会館
自主事業



藤田敏八監督作品
八月の濡れた砂
(昭和46年日活)

【上映時間】
12:40~14:15



鈴木清順監督作品
けんかえれじい
(昭和41年日活)
【上映時間】 11:10~12:40

12/2 4本立て
(日)

■北秋田市文化会館
[上映時間(全)]
9:30~15:40



西河克巳監督作品
伊豆の踊り子
(昭和49年日活)
【上映時間】 14:15~15:40



浦山桐郎監督作品
キューポラのある街
(昭和37年日活)
【上映時間】 9:30~11:10

【入場料】500円
(前売・当日共)
※高校生以下無料

■プレイガイド

日活書店 いとく鷹巣南店 森吉コミュニティセンター
ひまわりの家 阿仁公民館 ウイング 合川公民館 中央
公民館 市文化会館 大館市民文化会館 能代市文化会館

■主催・お問合せ

北秋田市文化会館 ☎62-3311 合川公民館 ☎78-2114

11/18
(日)

2本立て

■合川農村環境改善センター
(合川公民館)

■上映時間
「稲妻」
9:30~10:57
「華岡青洲の妻」
10:57~12:36



稲妻



増村保造監督作品
華岡青洲の妻
(昭和42年大映)

成瀬巳喜男監督作品 (昭和27年大映)



11月23 日(金)

[6:30pm] 開演
◇北秋田市文化会館
主催/「花やから」公演実行委員会
◇入場料/3,000円
《全席自由》
■プレイガイド・お問合せ
北秋田市文化会館 ☎62-3311